

・・・研修・情報交換の場を広く・・・

行動する環境アドバイザーの会報

グリーンニュース 第53号



榛名湖イルミネーションフェスタ、2006年から開催されているそうですが、初期の頃の写真です。冬場の集客の為に始めたそうですが効果はどうなんでしょうか。

県内ではその他高崎市内（1月14日まで）太田（1月6日まで）ぐんまフラワーパーク（12月30日まで）伊勢崎（12月25日まで）新町（1月31日まで）館林（2月22日まで）渋川（1月31日まで）その他各地で

- P1 表紙
- P2 環境政策課より、
- P3 須永代表より、宮崎副代表より
- P4 自然環境部会、ごみ部会だより
- P5 温暖化・エネルギー部会だより、お知らせ
- P6 地域トピックス(前橋市)、吉澤副代表より
- P7 トピックス
- P8 トピックス、編集後記など

発行年月日 平成24年12月25日
発行責任者 群馬県環境アドバイザー連絡協議会
代表 須永 徹

群馬県環境アドバイザーの動き (平成24年12月10日現在)

前年度(第8期)の県環境アドバイザーは327名の登録をして頂いておりました。第9期(登録期間:平成24年4月1日~平成27年3月31日)への更新登録者は203名でした、今期の新規登録者を含め平成24年12月10日現在252名です。 前期同様、各地で活躍されています。

※ サポセンブログ <http://saposen.kazelog.jp/> から
グリーンニュースがダウンロードできます。

サポセンブログを携帯、スマホで見よう



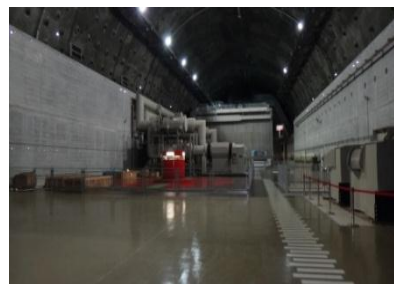
平成24年度群馬県環境アドバイザー研修会レポート

環境政策課 松村 賢一

12月7日(金)環境アドバイザー研修会として、上野村の木質ペレット燃料製造工場と神流川発電所に出かけました。季節柄、寒さが厳しくなり始めていましたが、当日は天候にも恵まれ、快適に研修をすることができました。

木質ペレット燃料製造工場は、上野村の面積96パーセントを占めるという豊富な森林資源を活かし、林業の活性化と雇用促進、地域振興のために建設された工場です。原料は間伐において発生するスギやカラマツのC材(木材の等級・チップやボードとして利用される)を使います。

工場内で生産されたペレット燃料は一般向け販売のほか、村内各施設でペレットストーブの燃料として活用します。



続いて神流川発電所に向かいました。この発電所は、上部の南相木ダムと下部の上野ダムの落差を利用した大規模な揚水式発電所です。見学場所までは、地下深くまでトンネルを通って行きました。地下の大空洞の中、大きな発電機が設置されていました。また、様々な技術と工夫によって作られている発電所の仕組みを知ることができました。

2つの施設の見学を通して、今回もエネルギー生産や利用について貴重な知識を得ることができました。

～参加者からの感想(敬称略)～

(木質ペレット燃料製造工場)

・今後の選択肢が増えた感じがした。(鬼形)

(神流川発電所)

・説明がわかりやすく他の発電所と比して整然としてました。(匿名希望)

(研修への希望・意見)

・個人で見学しにくい施設研修を継続してほしい。(匿名希望)

・有意義な研修会で大変充実した一日でした。参加者の少ないことは本当に残念です。(匿名希望)

今回の研修で得ることのできた知識をもとに、これからの環境教育、環境活動に活かしていきましょう。興味深く、意義ある研修会を来年度以降も考えていきます。最後に上野村をはじめ、今回の研修に御協力いただいた関係各所に深く感謝いたします。

群馬県環境アドバイザーの皆様へ

環境アドバイザーと連絡協議会

今更改めて言うまでもありませんが、「地域における環境保全活動のけん引役になっていただくことを目的」として、群馬県の環境問題をより良くしていくための登録制のボランティアです。

必要とされているものは、「やる気」と「行動力」とされています。

つまり登録さえすれば、誰でも環境アドバイザーになれるのですが、登録した以上は今まで以上の行動も要求されます。皆さんの中には、折角登録したのに登録しただけで、行動として何をしたら良いかが具体的にないということはありませんか？

環境アドバイザー連絡協議会は環境の諸問題について、志を同じくする人達による部会を以って、より積極的に群馬県の環境をより良くしていこうというものがありますが、登録時にこれらの部会への登録も行った方は、是非部会への出席・参加をしてみてください。また、部会登録をしていなかった方でも参加はできますので、是非関心のある部会への参加をしてみたら如何でしょうか。更に知見や経験を深めることにより、それぞれの地域での活動のリーダーとして活躍して頂きたいと思えます。

また環境サポーターとしてご活躍の皆さんも、部会への参加についても宜しくお願ひします。学校での子供達の関心などを、是非部会メンバーにお話し頂ければと思えます。

(環境アドバイザー連絡協議会 代表 須永 徹)

環境アドバイザー 環境学習研修会に参加して

ー上野村木質ペレット燃料工場・神流川発電所見学ー

平成24年12月7日 午前8時50分 JR 新前橋駅前集合出発、参加者19名。晴天に恵まれ絶好の見学和より、上信越自動車道にて一路、下仁田経由にて午前11時、上野村木質ペレット燃料製造工場に到着、思っていたより高くて見晴らしの良い場所でした、さすが村面積の96%を占める森林に囲まれた絶好な位置に先ず感心しました。すぐに事務室へ案内され製造工程等細部にわたり説明を受けました、工場は天井も高く木材を粉砕する音が賑やかにフル回転しておりました。杉、カラマツなどが原料になっているようですが良材は市場へ流通したり森林所有者へ還元されたりするそうです。ペレットに加工される原料は、販売に不向きな低質材や間伐材を加工しているとの事でした。

ペレットは村内温浴施設でも利用され、村内外への販売(10kgで420円)や木質ペレットストーブにも販路の拡大を計っておられているとの事でした。

私事で申し訳ありませんが以前より暖炉のある家に憧れを持っておりました、ペレットストーブは煙も殆ど出ず石油より割安だそうです、需要が高まりペレットストーブが国産で増加し普及する日を楽しみに待ちたいと思っております。

又、同時に神流川発電所も見学させて頂きましたが、既に見学された方々が多くいらっしゃるそうですので報告は省略させていただきます。

(環境アドバイザー連絡協議会 副代表 宮崎 亮二)

専門部会たより

外来生物についての研修会のお知らせ

我々自然環境部会が維持管理に協力している高山村の共有林周辺でも最近外来植物の「オオブタクサ」が繁茂しつつあることはグリーンニュース52号でも触れましたが、植物のみならず外来動物による生態系の攪乱も問題になっています。

県環境森林部自然環境課の齊藤主任によれば、下記の要領で外来生物（動植物）に関する研修会が開かれるそうですので奮ってご参加ください。

講師は、自然史博物館・昆虫の森の学芸員、蚕糸園芸課の職員等の予定です。

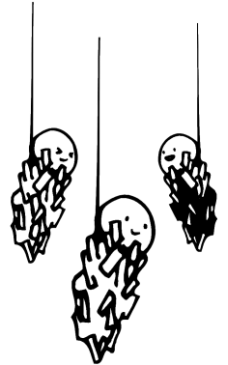
参加は無料ですが会場の都合もありますのでご希望の方はお知らせ下さい。

日時：平成25年1月26日（土）13：00～15：30

場所：群馬県立自然史博物館（富岡市上黒岩1674-1）

連絡先：宮崎：080-5019-3820

又は田中：rxk02772@nifty.com までお願いします。

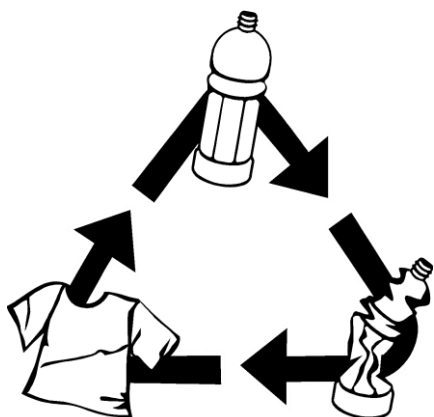


（自然環境部会 田中和夫）

廃食用油のリサイクル

日本のゴミ焼却場数はダントツで世界一です。日本ほど多くのゴミを出し、燃やしている国は他にありません。一人約1キログラムのゴミを毎日出しており、年間では一家庭から1～2トンのゴミが出ていることとなります。その中で群馬県はワースト3の位置にいます。この結果に行政は当然関心を寄せていますが、一般の県民はどうなのでしょう？先日のごみ部会でも、一般の県民はごみ問題に関心が薄いのではという意見がありました。家の中のごみには関心あるが、収集所に出して終わりと言う人が多いように感じます。ごみ問題に関心を持つ県民がもっと増えてゆけば、より良い改善に繋がってゆくと思います。

ところで「てんぷら」「フライ」などの廃食用油は、皆様の家庭ではどう処理されていますか？燃えるごみとして出されている家も多いようですが、県内各地で廃食用油のリサイクル活動をしています。近年「てんぷら」「フライ」をする家が減り、活動にも影響しているとのこと。食生活の変化や世帯人数が減っていることも一因と考えられます。ごみ部会では廃食用油のリサイクル活動について事例発表会を企画しています。廃食用油のリサイクル活動を応援する立場から、その現状と課題に迫りたいと思います。ごみ部会員は勿論ですが、会員以外の参加も大いに歓迎します。



（ごみ部会長 山田一郎）

専門部会たより

いよいよ寒くなってきましたね～。

こうなってくると暑かった夏のこと、忘れちゃいますよね～。

さて環境に関することでは、経済産業省の諮問機関で「総合資源エネルギー調査会」というのがあります。その「基本問題委員会」のメンバーが「エネルギー基本計画」というのを策定していました。

飯田哲也さんとか、枝廣淳子さんとかエネルギー関係に詳しい人の集まった有識者会議です。

<http://www.enecho.meti.go.jp/info/committee/kihonmondai/index.htm>

(資源エネルギー庁のHPに載っていますので時間があればみて下さい。)

11月14日の会議で休止が決まりました。

理由は①議論が十分でない。②衆議院の解散により次期政権にゆだねるとのことだそうです。

環境問題ってこのところ全く後回しですよ～

ヤレヤレ。

我々環境アドバイザーは地道にできることからやってみましょう。

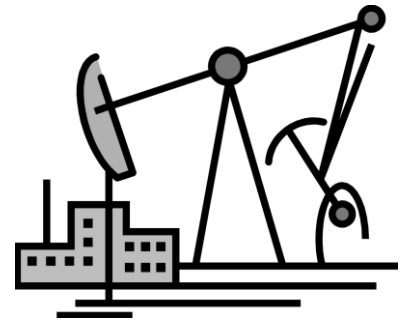
11月17日に部会を開きました。群馬県企画課技術振興室の上石さん

に「出前講座・群馬県の再生可能エネルギー」お願いしました。

どうもありがとうございました。

次回の部会は年明け1月12日です。場所は「元気プラザ21」、10時～12時です。

(温暖化エネルギー部会 田口勇夫)



委員会・部会からのお知らせ

	内容	場所	月/日	時間	(担当)問い合わせ
広報	GN54号第一回編集会議	県庁16F 県民サロン	2月6日(水)	13:30-15:30	(田中)090-5430-6174 Rxx02772@nifty.com
自然	自然環境部会	前橋プラザ 元気21	1月29日(火)	10:00-12:00	(宮崎)080-5019-3820
温暖化	温暖化・エネルギー部会	前橋プラザ 元気21	1月12日(土)	10:00-12:00	(田口)080-5512-8160
ごみ	ごみ部会	県庁昭和庁舎 22会議室	1月26日(土)	13:30-15:30	(山田)090-4120-6508

前橋地区会誕生

平成24年11月12日(月)、13:30から前橋市役所11階北会議室で、前橋市在住の県環境アドバイザー(対象47名)の2回目の集まりが、下記の議題で行われました。出席者9名。

- 議 題 A 前橋地区部会の設立について
B 前橋市のごみ減量対策について
C 前橋市の環境全般について

◎ 当集まりに前橋市役所の中根環境政策課長、永井ゴミ減量課長が出席。

決定及び話し合われた事項

A 前橋地区の部会について

- 1 名称は『前橋地区会』と称し、原則として2か月に一回程度、会議又は行事を行う。
- 2 役員は、代表 宗 義彦、副代表 福田茂子、相談役 鈴木克彬と決定
- 3 会費は不要
- 4 前橋地区員への案内は、宗代表名義で、月一回送付される県環境サポートセンターからの便に同封して行う。

C 上記以外に話し合われた事項

- 1 古紙回収等廃品回収の現状説明と一層の推進施策
- 2 ゴミ回収有料化の可否
- 3 野焼き
- 4 廃油回収
- 5 食堂等での食べ残し品の減量対策



以上 (まとめ前橋市 鈴木克彬)

あなたの地区でも環境アドバイザー地区会を立ち上げませんか。

ーアドバイザーの横の連携を強め、地域活動を活性化しましょうー

今年、11月に前橋市在住の環境アドバイザーによる「前橋地区会」が誕生しました。「前橋地区会」では、今後、2ヶ月に一回程度の会議・行事を行い、地球環境問題に関する地区の課題を中心に取上げて取り組むとのこと。

県内各地区在住の環境アドバイザーによる「地区会」、「地区連絡会」は、既に高崎地区、安中地区でも組織化されており、地域の課題を取上げた環境学習会や行政との環境懇談会などが行われています。

地球問題の改善のために、まず地域の課題の解決に地区のアドバイザーが連携して力を合わせて取り組みましょう。あなたの地区でも地区会の立ち上げを。

(群馬県環境アドバイザー連絡協議会 副代表 吉澤 敏則)

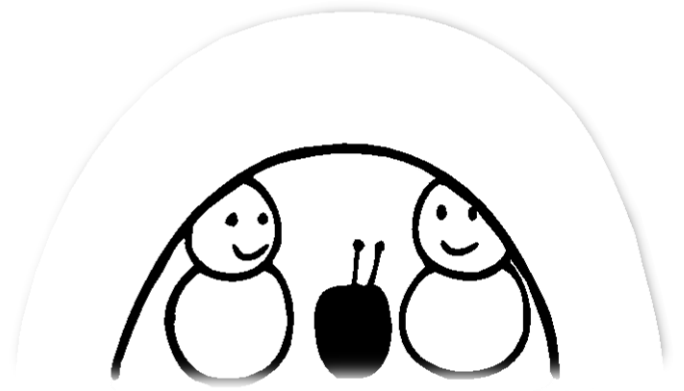
読んでみませんか？ 群馬県の「環境白書」

環境アドバイザーに登録して数年、恥ずかしながら先月、初めて群馬県の平成24年版環境白書を頂き読んでみました。今まで環境白書の存在は知っていたのですが、内容が難しいそうだなと、読んでみたことはありませんでした。しかし、実際読んでみますと、一般の方にも読みやすく作られていて、「へー、そうなんだ。」とおもしろく読めるものでした。今回は、この環境白書についてご紹介します。

環境白書とは、前年度の環境の状況と環境の保全や創造に関して講じた施策についてと、今年度予定する施策を報告するためのもので、3部構成になっています。1部には特集が生まれ、平成24年版では、バイオマス、電気自動車、節電・省エネに関する取組みが大きく書かれています。2部には、地球温暖化、生物多様性、循環型社会等について、その調査、対策や推進が報告されています。3部には、それらの計画の進行管理として、前年度の取組み状況と、今後の方針・課題が述べられています。

この環境白書を読んでみますと、群馬県としての環境への取組みがよく分かりますし、例えば、ごみの発生抑制では、ビン、缶、段ボール等の容器包装の分別収集量(t)が5年間の推移で見られるグラフが載っていて、様々なデータを見られるのもおもしろいです。環境に関する、法律、教育、文化等、様々なことも書かれていますので、知識や考え方も広がるのではないかと思います。環境アドバイザーの皆さんにおすすめの1冊です。

入手につきましては、群馬県環境政策課までお問い合わせ下さい。（前橋地区 梅山さやか）



尾瀬沼を歩いて



過日、30年振りで尾瀬に行って来ました。

鳩待峠から尾瀬ヶ原への坂道はかなり歩きやすくなっていました。それでも前期高齢者の私にはきつかったです。仲間に遅れないようにと、心臓がバクバクでした！

坂道の途中に朽ちた巨木の一部が、半身を湧水に浸けて横たわっていました。私はその姿に、感動と畏敬の念をととも深く覚えました。きっと 長遠の彼方から、私たち人間の賢さや愚かさをじっと見つめてきて、今 生命のバトンを渡し、それでも 行き交う登山者に何かメッセージを送っているように思えました。私は歩きながら考えていました。生命の循環をはじめ 全てが地球という星の中で、イヤ 宇宙の中で循環しているのだと、改めて！！

地域の出前講座等で、特にごみ問題は循環型の横綱格と思い、ごみはごみにあらず、資源なり！と呼びかけています。スーパーマーケットで出会った友人には「牛乳を買う時は手前から取ってね」と言います。そして特に主婦は、食品や衣類の特売に気を付けたいと話します。又 家庭の台所にはドロドロしたものを流さないようにと・・・節水も節電につながる事を強調します。

エコの難しさでもありますが、誰が認めてくれなくても、誰も褒めてくれなくても、青い地球という我が家を守るためにみんなで知恵を出し合い行動してゆきたいと思います。あの 尾瀬で出会った巨木が安心して永久の眠りに付けるように！

(安中市 磯貝 享子)

スタッフの独り言

一部会としての広報部から協議会直轄の広報委員会という新体制になって初めてのグリーンニュースをお届けします。

環境アドバイザー協議会の公式機関誌という性格上、どうしても固い記事が多くなるのは止むを得ないことですが、前号にも書きましたように「読みたい・読んでもらえる」グリーンニュースにしたいと常々思っています。

専門部会便り、地域トピックス（特に前者）にはマンネリ化の懸念が常に伴います。類型化された投稿依頼をするだけではなく、こちらから出かけて行つての取材・環境関連の他の団体などとの交流会などの機会を設定してはどうかという案もあります。読者（アドバイザー）の皆さんもアイデアがありましたら編集部までお知らせください。

さらに今回提案（お願い）したいのは写真の投稿です。今や写真といえばデジタル（携帯・スマートフォン含め）という時代ですから投稿は簡単だと思います。長い記事は必要ありません、数行の簡単なコメントを書いていただければ結構です。ただ、紙質・白黒印刷という制約上あまり細かい解像度は期待できず、また全ての写真を掲載するとはお約束できませんが。

今回の表紙写真は榛名湖のイルミネーションにしました。「電気ムダ使いでエコロジックの問題だ」という方もいらつしやるかも知れません。どんなご意見でもかまいません、左記まで投稿して下さい。

Mail : r x k 0 2 7 7 2 @ n i f t y . c o m
F A X : 0 2 7 - 3 2 5 - 0 7 2 1

田中までお願いします。
広報委員会 田中 和夫